

平成29年 4月10日

学校教育計画（平成29年度～平成31年度）

学校名	大和東高等学校	課程・学科 教育部門・学部	全日制課程普通科
-----	---------	------------------	----------

1 学校のミッション

全日制普通科（クリエイティブスクール）の高校として、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に応えるため、学年制によるカリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組み、学力の育成、豊かな人間性や社会性を培い、社会的・職業的に自立することをめざした学校づくりに取り組む。

教育課程については、共通教科・科目を中心に、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえながら、普通科として適切な編成を行う。

これまで、自己の進路希望の実現に向けて地道な努力ができる生徒の育成をめざし、部活動やボランティア活動などの体験活動を充実させ、「いのち」や他者とのかかわりを大切にしている教育活動に取り組んできたが、今後はさらに、クリエイティブスクールとして、生徒一人ひとりの抱える課題を踏まえた適切な支援を行い、キャリア教育による社会や他者とかかわる力、学習状況に応じた学び直しなどの学習活動により、確かな学力の育成を図るための不断の授業改善を行う等、教育活動の一層の充実に取り組む。

生徒の安全、安心の確保に努めるとともに、学校運営協議会制度を導入し、地域等との協働による、地域に開かれ、地域と共にある学校づくりに取り組む。

2 学校教育目標

- 生徒一人ひとりの学習状況に応じたきめ細かな学習活動により確かな学力の育成を図る。
- 外部機関等とも連携した全職員一体となった組織的な支援体制により、生徒一人ひとりの抱える多様な課題の解決を図る。
- 地域・社会とつながる系統的なキャリア教育を実践し、自立した個人として必要な社会実践力を備え、社会や他者と適切に関わる力を備えた生徒を育成する。
- 部活動やボランティア活動なども含めた教育活動全体を通して、自分で考え、責任ある選択と行動ができる生徒を育成する。
- 地域等との協働による学校づくりを推進し、生徒が学ぶ安全・安心な教育環境づくりに取り組む。

3 計画作成時点での課題

- 学び直しを必要とする生徒も多く、学力の幅が拡大していることから、授業や教育環境のユニバーサルデザインに加え、生徒の意識改革や基礎・基本の定着につながる学習支援体制が必要である。
- 教育相談件数も増加し、生徒や家庭の課題も深刻化していることから、SC・SSW・SCC等と連携した組織的な生活指導・教育相談体制の強化が必要である。
- 進路希望が多様化しており、就職者の増加や進路未定者の解消につながる系統的キャリア支援が必要である。
- 加入率が40%台となっている部活動や、学校行事の活性化により、生徒同士や生徒と学校等の一体感を高めたい。
- 組織的な授業改善や校内授業研究を活性化させ、アクティブ・ラーニングなどを意識した「わかる授業」を実践し、主体的に学習に取り組むことのできる生徒を育成する必要がある。
- コミュニティ・スクールとして地域と学校との相互連携を強め、外部の教育力を活用した学習支援・キャリア支援等の教育活動を推進することで、地域に開かれた学校作りを推進する。

4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人ひとりの個性・可能性の開発と伸長が図れる教育課程を実践し、自立した個人として必要な社会実践力を身につけさせる。 ・「学ぶ」楽しさを意識した不断の授業改善に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本の定着につながる学習支援システムを展開する。 ・総合的な学習の時間における「朝読書」を効果的に活用する。 ・「わかる授業」作りにつながる組織的な授業改善に取り組む。
2	生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・組織的な支援体制により、生徒一人ひとりが落ち着いて学習に取り組める環境を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員による一斉指導を展開し、生徒に基本的な生活習慣を身につけさせる。 ・コア会議・ケース会議・生徒支援会議を活用した教育相談体制により、チーム支援に取り組む。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・自立した個人として自己のキャリア意識を高め、社会と関わり貢献できる生徒を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間を中心とした3年間の系統的なキャリアプログラムを実践・検証を継続する。 ・地域・社会と連携したキャリア教育実践プログラムにより生徒の社会実践力を高める。
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や地域との協働による学校づくりを推進し、人と社会と未来につながる開かれた学校づくりを推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校説明会やHP等を活用した情報発信により、外部資源との連携強化を推進する。 ・学校運営協議会制度を活用し、外部評価を取り入れた教育活動を推進する。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての職員が学校運営の主体としての意識を共有し、一体となって教育活動に取り組む組織づくりを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会や「大和東クリエイティブ・プロジェクト」等を活性化させ、全職員間の情報共有に努める。 ・不祥事・事故防止研修会を年間10回以上実施する。